

『大原社会問題研究所雑誌』 2023 年度総目次

- (1) 2009～2022年度の総目次については各翌年度4月号を参照されたい。
- (2) 『資料室報』第1号～『大原社会問題研究所雑誌』第599・600号までの総目次については、2008年10・11月号(No.599・600)を参照されたい。
- (3) なお、大原社会問題研究所 Web サイト (<http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/oz/>) でも、バックナンバー総目次を掲載している。さらに、1997年4月号以降については、雑誌本体のオンライン・ジャーナル化、Web上での公開を行っている。

2023年4月号 No.774

【特集】第35回国際労働問題シンポジウム 船員の労働と物流——暮らしを支えるサプライチェーン	
特集にあたって	藤原千沙
海運業界・船員の仕事と私たちの生活はどう結びついているのか	森 隆行
外航海運の海事人材育成の課題——使用者の立場から	越水 豊
船員の必要性和確保・育成について——労働者の立場から	田中伸一
船員として働くためのルールや権利について——政府の立場から	浦野靖弘
パネルディスカッション	
■書評と紹介	
堀川祐里著『戦時期日本の働く女たち』	富江直子
田中雅子著『増税の合意形成』	高端正幸
青木宏之著『日本の経営・労働システム』	藤井浩明
池松玲子著『主婦を問い直した女性たち』	元橋利恵
和氣誠・和氣文子編『向坂逸郎著作年表』／和氣誠・和氣文子・中澤秀行校訂『向坂逸郎「治安維持法違反事件」裁判記録』	藤岡健太郎
堀川祐里著『戦時期日本の働く女たち』	富江直子
社会・労働関係文献月録	
『大原社会問題研究所雑誌』2022年度総目次	
月例研究会 ナチ体制初期の国有企業の再編と再私有化——合同製鋼の事例	伊藤林蔵
所報	2022年12月

2023年5月号 No.775

【特集】社会福祉施設の労働問題 (1)	
特集にあたって	藤原千沙
児童養護施設職員の労働問題と労働組合の役割	堀場純矢
母子生活支援施設職員の給与水準と待遇に関する諸課題	武藤敦士
救護施設から見た福祉現場での「働き方」	松木宏史
■論文	
韓国鉄道労働組合の職種・政派間団結——2000年代の労使関係を中心に	朴峻喜
■書評と紹介	
宮下さおり著『家族経営の労働分析』	坂田博美
阿部武司著『日本綿業史』	ジャネット・ハンター ／榎一江訳

社会・労働関係文献月録	
所報	2023年1月

2023年6月号 No.776

【特集】社会福祉施設の労働問題（2）	
社会福祉基礎構造改革・介護保険制度と介護施設の労働問題	井口克郎
小舎夫婦児童自立支援施設におけるチーム養育支援モデル構築に関する研究	真崎英二
■資料紹介	
丸子警報器労組関係資料	新原淳弘
■書評と紹介	
角能著『ケアをデザインする』	菊澤佐江子
元橋利恵著『母性の抑圧と抵抗』	笹谷春美
早津裕貴著『公務員の法的地位に関する日独比較法研究』	野川 忍
金成垣著『韓国福祉国家の挑戦』	大西 裕
社会・労働関係文献月録	
月例研究会 『ビヨンド！ KDDI 労働組合 20年の「キセキ」』 を書くということ	本田一成
所報	2023年2月

2023年7月号 No.777

【特集】図書から広がる市民活動資料の世界	
——東京都立多摩社会教育会館旧市民活動サービスコーナー資料を考える	
特集にあたって	山本唯人
市民活動資料における図書の整理	宮崎翔一
東京都立多摩社会教育会館市民活動サービスコーナー事業における資料の収集と活用	山家利子
東京都立多摩社会教育会館市民活動サービスコーナーと多摩地域の市民活動	加藤旭人
■資料紹介	
権田保之助資料	土井雄貴
■書評と紹介	
松村淳著『建築家として生きる』	牧野智和
大田英昭著『日本社会主義思想史序説』	梅森直之
中澤秀雄・新藤慶・西城戸誠・玉野和志・大國充彦・久保ともえ著／翻刻 『戦後日本の出発と炭鉱労働組合』	島西智輝
社会・労働関係文献月録	
月例研究会 拙著『近代日本の技術者と人材形成・人事管理』をめぐって	市原 博
所報	2023年3月

2023年8月号 No.778

【特集】ベーシックインカム運動研究の地平	
特集にあたって	岡野内 正
月に1ペニーでもベーシックインカム？——ベーシックインカムの閾値概念の歴史	山森亮著・監訳・解題 ／仲林陸・林麟太郎訳
雇用か所得保証か？ ——南部アフリカにおける普遍的ベーシックインカムと現金給付の政治	E. フォウクスマン／ 牧野久美子 訳

トマス・スペンスの土地建物・生産手段総有住民自治体ベーシックインカム構想 ——18世紀イングランドにおけるベーシックインカム運動の生誕	岡野内 正
■資料紹介	
17世紀後期ロンドンの建築プロジェクト ——新発見の著作及び異版の解題を含めたニコラス・バーボン再考	高橋裕一
■書評と紹介	
鈴木貴宇著『〈サラリーマン〉の文化史』	清水 剛
文貞實著『ライフ・トークの社会空間』	山口恵子
社会・労働関係文献月録	
月例研究会 「余白」と散種	長原 豊
所報	2023年4月

2023年9・10月号 No.779・780

【特集】文化芸術分野における大原社会問題研究所資料	
特集にあたって	藤原千沙
プロレタリア美術運動と「左傾本」の装丁について	喜尋孝臣
「新世紀群」再考 ——サークル運動から前衛芸術集団「ネオ・ダダ」の「母体」を捉え直す	町村悠香
セツルメント活動と「アート」の実践 ——帝大・川崎・興望館セツルメントにおける新旧の事例から	古家満葉
高野岩三郎と画家・矢崎千代二の交友	横田香世
■資料紹介	
大原社会問題研究所が所蔵する絵画資料について	中村美香・藤原千沙
ILOコレクションの受贈について	榎 一江
■講演	
移住労働者の権利保護と移民管理政策の相克	上林千恵子
■書評と紹介	
石田光男・上田眞士編著『パナソニックのグローバル経営』	藤本隆宏
市原博著『近代日本の技術者と人材形成・人事管理』	菅山真次
石河康国著『榊田民蔵』	榎 一江
法政大学大原社会問題研究所 2022年度の歩み	
社会・労働関係文献月録	
月例研究会 戦後日本石炭産業における採炭技術の複線的発展と生産職場の多様化	清水 拓
所報	2023年5・6月

2023年11月号 No.781

【特集】関東大震災100年——虐殺研究をめぐる課題と新しい視点（1）	
特集にあたって	慎蒼宇
軍隊の朝鮮人虐殺をめぐる前史——間島虐殺経験からの再検討	慎蒼宇
植民地期在日朝鮮人運動による関東大震災朝鮮人虐殺の真相究明・責任追及の試み	鄭永寿
新しい100年、史実と記憶の共有に向けて ——関東大震災朝鮮人虐殺100年、韓国における研究史考察（2013～2023）と展望	裴始美

■資料紹介	
山田盛太郎『日本資本主義分析』「紡績業の興隆」項の草稿について ——草稿に記された戦後時点の加筆痕にも触れて	中根康裕
■書評と紹介	
早川純貴著『「公労協」労働運動の終焉』	兵頭淳史
稲井智義著『子ども福祉施設と教育思想の社会史』	元森絵里子
社会・労働関係文献月録	
月例研究会 オーラルヒストリーは戦後労働史をいかに更新したのか——『日本の雇用システムをつくる 1945-1995——オーラルヒストリーによる接近』を素材に	
所報	2023年7月

2023年12月号 No.782

【特集】関東大震災100年——虐殺研究をめぐる課題と新しい視点（2）	
関東大震災における流言の拡散	樋浦郷子
植民地朝鮮における関東大震災の受けとめ方 ——震災時の流言・虐殺に対する姿勢を中心に	宮本正明
そこに日本人女性はいたのか——関東大震災時朝鮮人虐殺のジェンダー史的考察	藤野裕子
日本民衆史のなかの朝鮮人虐殺	藤田貴士
■論文	
入社試験・採用の男女差	安田宏樹
■書評と紹介	
清水万由子・林美帆・除本理史編『公害の経験を未来につなぐ』	香室結美
及川英二郎著『現代日本の規律化と社会運動』	加藤千香子
社会・労働関係文献月録	
月例研究会 HOSEI ミュージアム×法政大学大原社会問題研究所 HOSEI ミュージアムテーマ展示「社会を記録する」開催記念ギャラリートーク	
所報	2023年8月

2024年1月号 No.783

【特集】労働者供給事業の意義と課題	
特集にあたって	惠羅さとみ
労働組合による労働者供給事業の意義と課題	橋元秀一
港湾労働における労働組合の役割 ——全日本港湾労働組合小名浜支部の労働者供給事業を事例に	本田恒平
建設労働組合による災害時の労働者供給事業 ——全建総連による全木協・応急仮設木造住宅建設事業を事例に	惠羅さとみ
■読書ノート	
東ドイツ社会主義の盛衰から言論の自由と民主主義の価値を考える ——マクシム・レオ著／木畑和子訳『東ドイツ ある家族の物語：激動のドイツを生き、四代のファミリーヒストリー』を読む	進藤理香子

■書評と紹介	
井上雅雄著『戦後日本映画史』	宜野座業央見
森宜人著『失業を埋めもどす』	坂井晃介
社会・労働関係文献月録	
月例研究会 戦前期無産政党における「書記長」・「書記局」の成立・変遷についての一考察	立本紘之
所報	2023年9月

2024年2月号 No.784

【特集】リプロダクティブ・ライツ再考（1）——フランスと日本における運動と思想	
特集にあたって	後藤浩子
「自由な中絶」を求めて——フランスにおける中絶解放運動	相澤伸依
産児調節運動から「女性の健康と権利」への道	草野いづみ
■調査報告	
ホームレス当事者の生活歴と資源利用についての調査報告 ——大阪市のNPO法人Homedoorの事例から	永井悠大・白波瀬達也・ 小川未空・浦越有希
■書評と紹介	
大澤優真著『生活保護と外国人』	岩永理恵
満園勇著『消費者をケアする女性たち』	鈴木貴宇
社会・労働関係文献月録	
月例研究会 研究倫理研修——公正な研究活動に向けて	榎 一江
所報	2023年10月

2024年3月号 No.785

【特集】プロダクティブ・ライツ再考（2）——マタニティの再概念化	
特集にあたって	後藤浩子
未来に投企する者としての〈母〉——ドゥルシラ・コーネル追悼	後藤浩子
産まない女と女以外の妊娠する者のために ——ジュディス・バトラーがリプロダクションについて語る時	五十嵐舞
エルザ・ドルラン『人種の母胎（マトリックス）』における 「妊娠・出産（マテルニテ）」の問題	ファヨル入江容子
■書評と紹介	
大澤真平著『子どもの「貧困の経験」』	志田未来
金川めぐみ著『ひとり親家庭はなぜ困窮するのか』	緒方桂子
ダニエル・ベラン、リアン・マホン著／上村泰裕訳『社会政策の考え方』	四方理人
社会・労働関係文献月録	
月例研究会 労働組合の気候変動、公正な移行に対する政策	鈴木 玲
所報	2023年11月